

東播支部だより

令和7年度 東播支部定期総会

兵庫県隊友会東播支部 石田真一支部長は令和7年5月18日9時から陸上自衛隊青野原駐屯地内にある本部隊舎会議室において参加会員26名、委任状返信者64名 合計90名/115名の参加を得て、総会を開催した。

毎年、前年の物故者に対する黙とうを行って開催する運びでありましたが、前年の物故者は居られなかったため、今の支部の礎を築いてこられた先輩に敬意を表して、亡くなられた方々に対する黙とうを行って総会を開会した。

総会開催の冒頭に石田支部長がご挨拶において、昨年度一年間の各行事に対する積極的な参加、活動して頂いた皆様に労いのお言葉を述べられるとともに、感謝のお言葉を述べられました。

昨年は、自衛隊家族会が主体として行う家族支援について、家族会の補佐役とする任務が付与され

第88号
発行所
公益社団法人
兵庫県隊友会
東播支部
0790-49-3027
発行責任者
桑原 博



るため、青野原駐屯地司令と家族支援に関する協定を結び、新たな任務として付与される年となりました。

「支部長挨拶」



また、日本を取り巻く国際情勢は全く予断を許さない状態が続いており、現職自衛官の訓練が過密になっている。その中で我々隊友

会が現職自衛官に対して出来る支援があれば積極的に行っていきましよう」と挨拶されました。
(会議内容については、特に問題となる点もなく済々と総会を終了することが出来た。)

【サツマイモ植え付け】

引き続き、加東市滝野の勤労者体育館前にある休耕田に移動してサツマイモのツル三〇〇本の植付を行い、丁度お昼ごろに終了しました。

前日が雨模様であり、当日も雨の予報であったが、丁度良い雲空の下で作業が出来たことを参加した全会員が喜んでおり、秋の収穫に向けて豊作を祈って終了した。

「有志による事前準備」



「終了後の集合写真」



「只今、植付中」



折角植えたさつま芋 の苗が大変な事に・・・

去る、5月18日に会員有志で植付けた「さつま芋の苗」が1週間ほどで鹿の餌食となり無残な姿となりました。

被害を確認するや否や、会員有志の皆様が素早い対応により二次被害防止処置を施し「新芽」の早期の回復を期待し今後の対応を検討しております。



青野原駐屯地創設 第49周年記念行事

令和7年5月25日(日)10時から陸上自衛隊青野原駐屯地において創設49周年記念行事が開催された。兵庫県隊友会東播支部石田真一支部長他多くの隊友会会員が記念式典や模擬戦闘を見学し、その後行われた祝賀会食に参加した。

式典において小林駐屯地司令兼ねて第8高射特科群長が年の長きにわたり、地域の皆様に支えられ、今日の青野原駐屯地が所在していることに心からの謝辞を送られました。また、小林司令のみならず、参加された多数の国会議員の先生方の挨拶においても世界情勢や日本を取り巻く諸外国の動向等、日本としては今までの中で一番厳しい世界情勢であるとお話があり、日本を防衛する主任務を与えられている自衛隊・現職自衛官の皆様が心から敬意と感謝を述べておられました。

記念式典から観覧行進まで済々と終了し、第3音楽隊による音楽演奏、格闘の演武、模擬戦闘を行って、祝賀会食に移行しました。

来年が節目となる創設50周年を迎えるため、今年は少し規模を縮小しているのかと思えるところもありました。

既に来年で半世紀を迎える青野原駐屯地は決して古い駐屯地ではなく、日本全国に点在する駐屯地としては、新しい駐屯地であるとの認識があります。

特に隊友会東播支部会員の多くは、青野原駐屯地で勤務した会員であり、その中には約30年程度勤務した会員も多く在籍しています。

隊友会東播支部の会員は自衛隊が好き、青野原駐屯地が好き、駐屯地隊員が好きであり、その現職隊員と家族の幸せを第一に考え、本年度も支部が出来る支援を積極的に行うという強い気持ちで改めて実感できた記念記念行事でした。

事務局長 細貝 寛徳



自衛官候補生 25km行軍激励

兵庫県隊友会東播支部(支部長 石田真一)は、会員9名をもつて、令和7年6月5日青野原駐屯地の自衛官候補生25km行進訓練を出発から帰隊までの経路上の各地点で声掛けを実施し、訓練に励む自衛官候補生を鼓舞・激励した。

教育隊長は訓示で「チームワーク・健康管理・威厳」の3点を要望、スタートの号令で、候補生は意気揚々と出発・・・。駐屯地周辺の小野市・加西市を行進。雲一つない炎天下、じりじりと体力を消耗する。



支部会員は第2・第3・第4・第5および第7休止点で応援した。特に最終休止点から駐屯地の区間、一緒に行進した空中会員は、遅れて離脱しそうになる候補生に対し、Uターンして助ける候補生の光景に連帯の強さを見た。会員が昔経験した苦しい思い出を思い起こし、疲れと荷重に汗する候補生に、親のような気持ちで任務を達成するよう「フアイト・頑張れ!!」と声掛けし激励を行っていた。

今月下旬には修了式を迎える自衛官候補生の諸官に、完歩した成果を糧として、これからも同期が切磋琢磨し立派な社会人・自衛官になつていただくことを願って止まない。

副支部長 池田 廣志



「第2休憩地点通過」



「駐屯地到着」



「完歩まで残り1km」

支部からのご連絡

【令和7年度#1緊急連絡訓練の実施等について】

支部では、災害等発生時に支部会員の安否確認を行う体制確立のため、来る9月1日に緊急連絡網を利用した安否確認の緊急連絡訓練を行います。

昨年も訓練を行いました。実施要領が分からなかったりして連絡がつかない人がいたり、連絡網のグループ長の交代もあり、連絡網を修正したのでそれに基づいて訓練します。

●訓練実施要領

今回配布する「緊急連絡網（安否確認）」について「に基づいて行います。想定として「9月1日午前8時に東播地区に震度6の地震が発生した。」で行います。

今回配布する連絡網資料は個人情報保護の観点から各グループ内の方だけの電話番号を載せたものを配布します。今後の取り扱いには注意をお願いします。

8月末までに支部長と各グループ長間および各グループ内の相互の連絡手段・要領の事前確認を行ってお願いいたします。

●関連依頼・連絡事項

大規模災害発生時には隊友会は隊員家族支援として、留守家族の安否確認を締結しております。その際に実働できる会員の把握をしておきたく、「家族・自宅に被害がなければ協力できる」方を募りたいと思います。阪神淡路地震の際、交通の大渋滞が起こったのを記憶されていると思います。そこで確認活動についてはそれぞれ近隣地域で行なう事が必要になるため、協力可能者を把握して体制作りには反映するものです。

また、今回使用の連絡網は2年前のアンケートをもとに同意あった方を対象に作成したものです。が今後は支部全会員に広げたいと考えます。

今年度、再度「家族協力実働可能者」と「支部連絡網への登録」についてアンケート調査を行いますので協力いただけますようお願いいたします。

支部長 石田 真一

支部の活動実績

- 4月5日 臨時理事役会
支部長以下19名
サツマイモ植付け準備
支部長以下他16名参加
自衛官候補生前期入隊式
支部長参加
- 4月12日 臨時サツマイモ畑整備
池田副支部長以下6名参加
- 4月27日 隊友会東播支部定時総会
支部長以下26名
サツマイモ植付け
- 5月18日 支部長以下他23名参加・芋300本
青野原駐屯地記念行事
支部長他多数参加
- 5月25日 自衛官候補生前期総合
25km行軍激励
- 6月5日 池田副支部長以下9名参加
臨時サツマイモ畑整備
石田支部長以下6名参加
県理事役会
- 6月13日 県理事役会
事務局長
鈴木理事参加
- 6月15日 自衛官候補生前期終了式
支部長参加
- 6月22日 新隊員後期教育開始式
県隊友会定時総会・懇親会
- 7月3日 懇親会及び#3県理事役会
- 7月6日

支部の主要業務予定

- 7月12日 理事役会
サツマイモ畑の除草
慰霊碑清掃奉仕及び
慰霊行事
- 7月27日 青野原駐屯地盆踊り大会
9月1日 歴史ウォーク
9月1日 #1回支部防災訓練
（緊急連絡網の点検）
- 9月中・下旬 新隊員後期教育修了式
10月上・中旬 サツマイモ収穫祭
（2回を追求）
- 10月10日～15日 #1予備自衛官
招集訓練激励
- 10月26日 鵜野祈念の碑 慰霊祭
11月14日～18日 #2予備自衛官
招集訓練激励
- 11月22日 忘年会（東加古川 弁慶）
11月29日 理事役会
12月7日 小野ハーフマラソン支援
12月7日 県理事役会
12月下旬 青野原駐屯地年末行事
1月上旬 青野原駐屯地成人者激励
1月中旬 青野原駐屯地新春互礼会
1月17日 #2回支部防災訓練
（緊急連絡網の点検）
- 1月24日 理事役会
2月中・下旬 県隊友会支部長等会議・
懇親会及び#3県理事役会

【支部役員の変更】

会計補佐の職を解任し、
理事役の職に指定する
志方 一也（小野市）
理事役の職に指定する
神寄 忍（加古川市）

【受章】

受賞おめでとうございます
第44回危険業務従事者叙勲彰
瑞宝双光章
今岡 聖勝（小野市）

瑞宝単光章
上田 謙治（三木市）
小田口喜久次（加東市）

【新入会員紹介】

森下 哲也（三木市） 青野原駐業
令和7年4月4日退官



編集後記

盛夏の候、皆様ご健勝で過ご
しのこととお喜び申し上げます。
日頃より会員の皆様におかれま
しては隊友会活動に多大なご尽力を
賜りまして厚く御礼申し上げます。
さて、「大阪・関西万博」が開
催され、早いもので開催期間の半
分が経過しようとしています。会
員の皆様で訪問された方がおられ
ましたら「投稿記事」をお待ちし
ております。「大阪万博」が開催
されてから55年が経過した現在、
近代化も更に進み文明の発展は著
しいものがあります。
さつま芋の鹿被害時、一時はど
うなるかと思いましたが、池田副
支部長を核とした有志の皆様が
ご協力によりV字回復の方向に向
かっております。ご支援をいただ
きました皆様、本当にありがとうございます。
続きます。会員の皆様におかれま
しては適宜・適切な水分補給を行
い「熱中症」にはくれぐれも注
意されお過ごしください。
本年度も皆様からの引き続きの
ご支援・ご協力並びに多種多様な
投稿を切にお願い申し上げます。

mrxsg983@yb.ne.jp

桑原 博

hayato.0309.0722@gmail.com

和久井 勇人